

施工段階		外装		10	設備工事： E Vオーバ-ヘッドの感知器用 点検口の防水対策			シート番号 10-4	
電気	空調	衛生	その他						
○	-	-	○						

ポイント

■防水対策の必要性

- ・ E Vオーバ-ヘッドの感知器用既成点検口は、屋外仕様が無いので屋外に設ける場合は、防水対策が必要です。

■防水対策例

- ・ 感知器用点検口の外側に鋼製枠SD点検口を設けます。
- ・ 鋼製枠SD点検口の底部は万一、雨水が浸入した場合に外部に自然排出できるよう外勾配とします。

■工事区分の明確化

- ・ 建築と設備の工事区分を明確にしてください。
(鋼製枠SD点検口の設置工事は建築依頼してください)

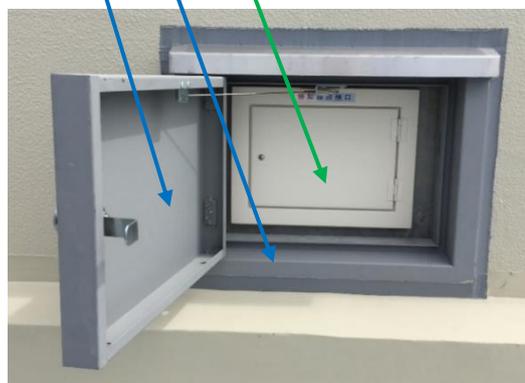
E V 工事 ： 感知器用点検口

建築工事 ： 鋼製枠SD点検口

SD点検口(建築工事)

点検口の底部外勾配(建築工事)

感知器用点検口(E V工事)



良い例

先輩アドバイス

- ・ 設備担当者が建築担当者と共に、止水処理について検討しましょう。
- ・ 鋼製枠SD点検口の設置(防水シール共)は、必ず建築に依頼しましょう。
- ・ 止水性能の品質責任の所在を明確にしておきましょう。

チェック項目

- 詳細の納まりを施工図にて調整済ですか。
- SD点検口の底部は確実に外勾配ですか。
- SD点検口の水密性に問題ありませんか。
- 品質責任の所在は明確ですか。

失敗すると...

- ・ 雨水が浸入した場合、E Vが水損してしまいます。場合によってはE Vの運行に支障をきたします。E Vに不具合が生じないよう、屋外点検口の防水対策はしっかりと確認しておく必要があります。

点検口の底部外勾配、
ハト小屋の欠きこみをしても・・・

感知器用点検口(E V工事)



良くない例

このように建築工事で工夫しても風雨によって、雨水の浸入の可能性があります！

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
	-	-	○	-	-	-	-	○	○
備考	参 考 文 献 :						制 定	2019年3月1日	
	参 考 メ ー カ ー :						改 訂	2023年3月1日	